

2分で分かる注目レポート

「Global Energy Review 2026」

発行
IEA

2025年の世界のエネルギー動向を総括

発行機関

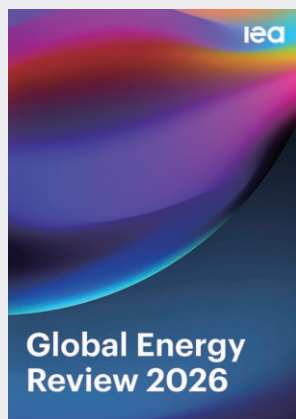
IEA (International Energy Agency: 国際エネルギー機関) は、第1次石油危機後の1974年に、キッシンジャー米国務長官(当時)の提唱を受けて、OECDの枠内における自律的な機関として設立された。

レポート紹介

2025年の国・地域別・燃料別のエネルギー需要、電力需給の動向、エネルギー技術導入状況、CO₂排出量の推計などを幅広く分析したレポート。さらに、エネルギー効率や、天候などの外的要因がエネルギー需要・CO₂排出に及ぼす影響も解説している。

OUTLINE

- 2025年の世界のエネルギー需要増加率は1.3%で過去10年の平均(1.4%)を下回った(図表1)。
- 需要成長の鈍化の背景には、経済の成長鈍化、一部地域でのエネルギー多消費型産業の伸び悩み、冷房需要の減少、エネルギー効率の向上など複数の要因がある。
- そんな中、拡大傾向を見せたのが電力。電力需要は約3%増加し、過去10年の平均(2.8%)を上回る水準を維持した。
- 増加分を燃料別に見ると、太陽光発電が世界のエネルギー需要増加分の25%以上を占め、天然ガスがこれに続いた(図表2)。天然ガス、石油、石炭の需要は増加したが、2024年に比べペースは鈍化した。

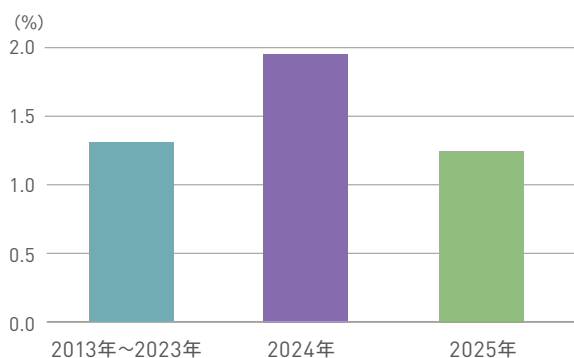


◀ レポートは2026年4月20日に発表された

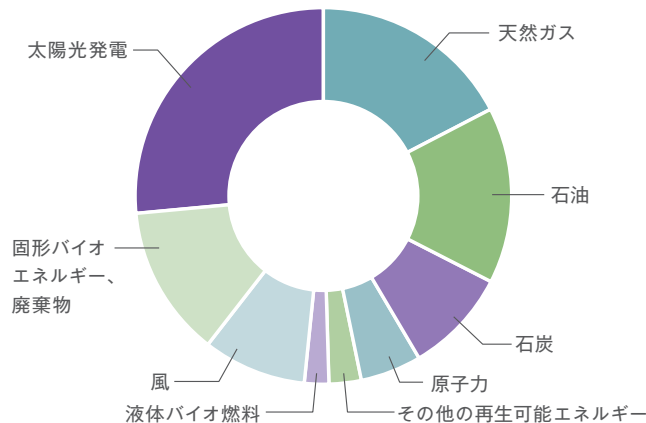
▼ 2025年、太陽光発電は力強い成長を見せた



■ 図表1 世界のエネルギー需要の増加率(年平均)
(2013年~2025年)



■ 図表2 2025年エネルギー需要増の燃料別シェア



(出所)IEAのデータより当社作成